

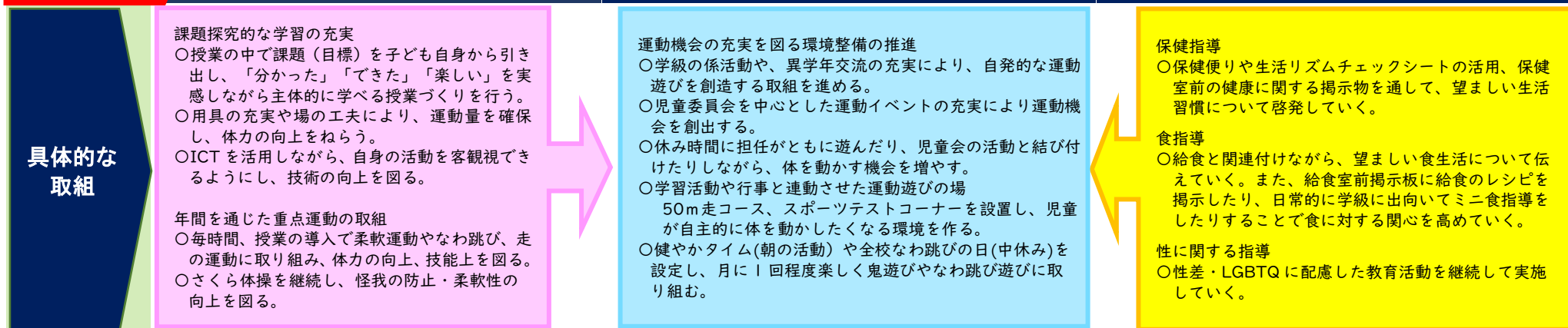
令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：25506

学校名：北野台小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果	分析
体力・運動能力 <男子>	<ul style="list-style-type: none"> ○全国平均とほぼ同程度または上回った種目 ⇒長座体前屈、50m 走、ソフトボール投げ ○前回の記録と同程度または上回った種目 ⇒上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅跳び 	<p>長座体前屈では全国平均を上回っている。また、50m 走、ソフトボール投げでは全国平均と同程度かやや上回る結果となり、柔軟性、走力、巧緻性が向上には一定の成果がみられたといえる。一方で、反復横跳びで全国平均を下回っており、俊敏性に課題が残った。</p> <p>全体的に全国平均を下回る結果となったが、長座体前屈と20m シャトルランでは前回の記録と同程度か、上回る結果となった。しなしながら、上体起こしや反復横跳びで全国平均を大きく下回り、筋持久力と俊敏性に大きな課題があることが分かった。</p> <p>運動や体育の学習に対して、全国や札幌市と比較して男子は肯定的な回答が多い一方で、女子は否定的な回答が多かった。また、女子は、全国や札幌市と比較して4時間以上スクリーンタイムを取る児童の割合が多い結果となった。生活習慣を見直して運動機会を増やしたり、体を動かすことの楽しさを実感したりできるように、授業を工夫し、子ども自らが健康の保持増進を図る取組を充実させていく必要がある。</p>
体力・運動能力 <女子>	<ul style="list-style-type: none"> ○全国平均とほぼ同程度または上回った種目 ⇒なし ○前回の記録と同程度または上回った種目 ⇒長座体前屈、20m シャトルラン、ソフトボール投げ 	
運動・スポーツへの意識、運動習慣	<ul style="list-style-type: none"> ○「運動が好き」と回答する子どもの割合 ⇒男子 83.9% 女子 52.9% ※R7 年全国・札幌市平均と比べて男子は上回っているが女子は下回っている。 ○「体育が楽しい」と回答する子どもの割合 ⇒男子 87.1% 女子 47.1.6% ※R7 年全国・札幌市平均と比べて男子は上回っているが、女子は下回っている。 	

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------



家庭・地域との連携・協働

- 地域企業やスポーツ団体主催の出前授業の活用により、運動の楽しさを実感できる機会を創出する。
- 校内スポーツテストの結果と分析を家庭と共有することにより、放課後や休日に運動する意識を高めるきっかけづくりを行う。
- 生活リズムチェックシートに取り組むことで、望ましい生活習慣について児童と家庭とが一緒に考え、実践していくためのきっかけづくりを行う。